



足立区教育委員会では SDG s 教育を推進しています。

足立区立扇小学校

取組 1 人権と生命を尊重する教育の推進

- (1) 教育活動全体を通して、人権と生命を尊重する教育を推進し、自主・自立及び協同の精神、規範意識を育むとともに自己肯定感の醸成を図る。道徳教育のより一層の充実を図るだけでなく、教育活動において児童が「自分も 他人も大切に」できるよう認め伸ばす教育を推進する。
- (2) 落ち着きと活気のある学校生活の実現を推進するため児童理解に努め、いじめ防止委員会を中心にいじめの予防・早期発見・早期解決を図る。
- (3) 不登校の未然防止・早期解消を強化するとともに、家庭と連携して学力の基盤となる生活習慣・学習習慣の確立に努める。
- (4) 特別な支援を要する児童に対し、合理的な配慮に基づいた個に応じた計画的・組織的な指導を行う。



取組 2 基礎的・基本的な学力の定着

- (1) 「できた」「わかった」の授業を推進し、教員の指導力・授業力の向上に努める。
- (2) 基本的な知識・技能を確実に定着させ、「足立スタンダード」に基づいた課題解決型の授業を展開することで、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。また、体験学習を取り入れることで、児童の「主体的に学びに向かう態度」を育成する。
- (3) 1人1台のタブレットを活用することで、1人1人に応じた学習の充実を図る。



取組 3 体力向上に向けた取組の推進

- (1) オリンピック・パラリンピック教育のレガシー教育として、持久走練習に取り組み、自らの目標を達成する意欲と態度を育成する。
- (2) 体力調査の結果を踏まえた体力向上推進計画を基に、体育や体育的行事など教育活動全体において児童の発達の段階を考慮した適切な運動を行い、児童自ら運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、心身を鍛え体力（特に、投力）の向上を図る。



取組 4 地域の特色に合った魅力ある教育活動の展開

- (1) 地域の自然材を活用し、環境への意識を高め、持続可能な開発目標（SDG s）を意識した教育活動を取り入れていく。
- (2) 異学年交流や学級活動を充実させることで、扇小学校の一員としての帰属意識と自己有用感を高め、自信をもって学校生活を送ることができるようにする。
- (3) 外部講師や地域の方をゲストティーチャーとして活用し、学習の幅を広げるとともに本物に触れる体験を充実させ、児童が将来の目標をもてるようにする。

